

## 調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

# 障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

## ～ご協力をお願い～

皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ策定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や特定医療費(指定難病)受給者証をおもちの方の中から、1,800人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

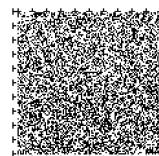
お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。



令和4年10月 調布市長 ながともよしき 長友貴樹

※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォン用アプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。

パラハートちょうふ  
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち



～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年10月31日(月)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》  
(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法


- ①封筒のあて名ご本人がお答えください。また、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の間に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ⑤回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答には30分から1時間程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

[https://questant.jp/q/city\\_chofu\\_fukushisgl](https://questant.jp/q/city_chofu_fukushisgl)



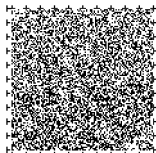
【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7089・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

1 本人	2 家族などが代筆	3 その他
------	-----------	-------

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 性別を教えてください。(1つに○)

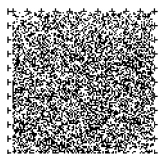
1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目
2	東つつじヶ丘3丁目 西つつじヶ丘4丁目
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 布田2丁目, 3丁目
6	国領町6丁目, 7丁目 多摩川6丁目, 7丁目
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 布田1丁目, 4丁目
8	上石原 下石原2丁目, 3丁目



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

1 持ち家	3 グループホーム
2 賃貸住宅(民間アパート, 都営住宅などを含む)	4 その他 (具体的に: )

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

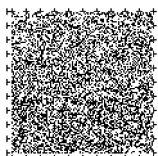
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)	6 孫(孫の配偶者を含む)
2 配偶者(夫または妻)	7 兄弟姉妹
3 父親	8 祖父母
4 母親	9 その他(具体的に: )
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	

問7 おもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

ばんごう 番号に○	とうきゅう しゅべつ 等級・種別に○
1 身体障害者手帳	→ 1級 2級 3級 4級 5級 6級
2 愛の手帳	→ 1度 2度 3度 4度
3 精神障害者保健福祉手帳	→ 1級 2級 3級
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)	
5 持っていない	

問8 どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

1 目が不自由(視覚障害)
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)
5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)
6 免疫機能障害
7 知的障害
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く)
9 発達障害(自閉スペクトラム症, 学習症(LD), 注意欠如・多動症(ADHD)など)
10 高次脳機能障害
11 その他(具体的に: )



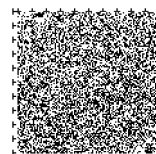
## 2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

- 1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)
- 2 友人・知人
- 3 相談支援機関の職員(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター, サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う相談支援専門員)
- 4 障害者施設(作業所, グループホームなど)の職員, ヘルパー
- 5 介護保険のケアマネジャー
- 6 市役所の職員
- 7 民生委員・児童委員
- 8 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員
- 9 その他(具体的に: )
- 10 相談する人がいない
- 11 相談の必要はない

問10 あなたは、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)

- 1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない
- 2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない
- 3 定期的な健康診断を受けられない
- 4 定期的な歯科健診を受けられない
- 5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない
- 6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある
- 7 通院するときに介助してくれる人がいない
- 8 医療費や交通費の負担が大きい
- 9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい
- 10 その他(具体的に: )
- 11 特にない



問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

- 1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する
- 2 ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する
- 3 グループホームで生活する
- 4 入所施設で生活する
- 5 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 6 わからない

### 3 市民同士の支え合いについておたずねします

問12 近年、さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

- 1 同じ地域に住んでいる人達の活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)
- 2 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)
- 3 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体・家族会、障害者施設や病院でのサークルなど)
- 4 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- 5 わからない、関心がない

問13 あなたは今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいです。(1つに○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 積極的に、取り組んでいきたい  | 4 取り組みたいが、できない |
| 2 できるだけ、取り組んでいきたい | 5 あまり取り組みたくない  |
| 3 機会があれば、取り組んでもよい |                |

### 4 災害時の対策についておたずねします

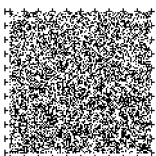
問14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1 防災行政無線        | 5 ケーブルテレビ              |
| 2 調布市防災・安全情報メール | 6 SNS(※)(市の公式アカウントを含む) |
| 3 調布FM          | 7 その他(具体的に: _____)     |
| 4 市ホームページ       | 8 わからない                |

※SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。



## 5 暮らしについておたずねします

問16 現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 障害者施設(作業所など)
- 5 仕事をしていたが, 現在は仕事をしていない
- 6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)

問17 職場や学校の人に, あなたの障害や病気のことを伝えてありますか。(1つに○)

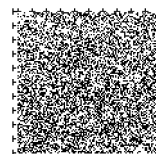
- 1 伝えている
- 2 伝えていない

問18 あなたは, どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 障害者施設(作業所など)
- 5 働きたいと思わない
- 6 働くことができない

問19 あなたが仕事をするために, 必要なことはありますか。(いくつでも○)

- 1 技術, 知識, 資格などの習得
- 2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定
- 3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)
- 4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー
- 5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解, 協力
- 6 通勤や勤務中の介助や支援
- 7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口
- 8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大
- 9 その他(具体的に: )
- 10 特に必要ない



問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	十分にある	十分ではない	機会はない	必要ない できない
回答例	①	2	3	4
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	1	2	3	4
イ 友人・知人との交流	1	2	3	4
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会	1	2	3	4
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会	1	2	3	4
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと	1	2	3	4

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含まれます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

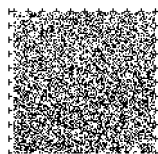
1 週に2回以上	3 月に1, 2回程度
2 週に1回程度	4 ほとんどしない

問22 スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

1 地域の体育館	5 自宅
2 民間のスポーツクラブ	6 その他(具体的に: )
3 通所先の施設(作業所など)	7 しない、できない
4 地域の公園や広場	

問23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

1 活動できる場所	5 活動場所までの移手段
2 指導者	6 活動を介助・サポートしてくれる支援者
3 障害に応じた器具・用具	7 一緒に活動する仲間
4 障害に応じたプログラムの充実や情報提供	8 その他(具体的に: )
	9 スポーツ・運動はしない、できない





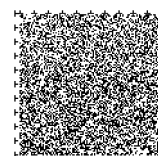
問24 コロナ禍によってあなたの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

	増 <small>ふ</small> えた	変 <small>へん</small> 化 <small>か</small> なし	減 <small>へ</small> った	事柄 <small>ことづら</small> が該当 <small>がいつとう</small> しない ・わからない
回答例	①	2	3	4
ア 人と直接会って話す機会の頻度	1	2	3	4
イ 人と電話やラインなどで話す頻度	1	2	3	4
ウ ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1	2	3	4
エ 障害者施設(作業所など)への通所回数	1	2	3	4
オ ショートステイ(短期入所)の利用回数	1	2	3	4
カ 仕事や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	1	2	3	4
キ 仕事(会社に行く)の日数や収入	1	2	3	4
ク スポーツ・運動などで体を動かす時間	1	2	3	4
ケ 趣味や好きなことをする時間	1	2	3	4

## 6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問25 調布のまちは、障害(身体障害, 知的障害, 精神的障害, 難病など)のある人にとって、福祉サービス, バリアフリー, 市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

1 住みやすいと思う 2 どちらかといえば、住みやすいと思う 3 どちらかといえば、住みやすいと思わない 4 住みやすいと思わない
--

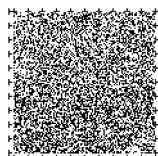


調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問26 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	充実 <small>じゅうじつ</small> している	充実 <small>じゅうじつ</small> している	充実 <small>じゅうじつ</small> していない	充実 <small>じゅうじつ</small> していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車 <small>くるま</small> いすの人 <small>ひと</small> や誰 <small>だれ</small> もが安全 <small>あんぜん</small> に通 <small>とお</small> れる建物の出入口 <small>たてもの でいりぐち</small> や通路 <small>つうろ</small> (段差 <small>だんさ</small> をなくす、幅 <small>はば</small> を広 <small>ひろ</small> げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設 <small>こうきょうしせつ</small> や病院 <small>びやういん</small> などのスロープ、エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車 <small>くるま</small> いすの人 <small>ひと</small> や乳幼児 <small>にゅうようじ</small> を連れ <small>つ</small> れた人 <small>ひと</small> 、介助者 <small>かいじょしゃ</small> の同伴 <small>どうはん</small> が必要 <small>ひつよう</small> な人など、誰 <small>だれ</small> もが使いやす <small>つか</small> いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやす <small>ある</small> いように障害物 <small>しょうがいぶつ</small> (商品 <small>しょうひん</small> や看板 <small>かんばん</small> 、放置 <small>ほうち</small> してんしゃ、電柱 <small>でんちゅう</small> など)が取り除 <small>と</small> かれ、段差 <small>だんさ</small> や凹凸 <small>おうとつ</small> が少 <small>すく</small> なく十分 <small>じゅうぶん</small> に幅 <small>はば</small> のある歩道 <small>ほどう</small> や道路 <small>どうろ</small>	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用 <small>しかくしょうがいしやよう</small> の信号機 <small>しんごうき</small>	1	2	3	4	5
カ 車 <small>くるま</small> いすやベビーカーで乗降 <small>じようこう</small> しやす <small>ちようていしやう</small> い超低床バス <small>つき</small> やリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 車 <small>くるま</small> いす使用者等用 <small>しやうしやとうよう</small> の駐車場 <small>ちゆうしやじやう</small>	1	2	3	4	5
ク 誰 <small>だれ</small> もがわかりやす <small>しゅうい</small> いデザイン(文字 <small>もじ</small> の大き <small>おお</small> き・種類 <small>しゅるい</small> ・色 <small>いろ</small> ・イラストなど)および位置 <small>およ</small> における、多言語 <small>たげんご</small> を用 <small>もち</small> いた案内表示 <small>あんないひやうじ</small>	1	2	3	4	5
ケ 手話 <small>しゅわ</small> への対応 <small>たいおう</small> や音声 <small>おんせい</small> ガイドがある施設 <small>しせつ</small>	1	2	3	4	5
コ 補助犬 <small>ほじょけん</small> と同伴 <small>どうはん</small> での入室 <small>にゅうしつ</small> が配慮 <small>はいりよ</small> された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園・道路 <small>こうえん どうろ</small> などを含む <small>ふく</small> 、まち全体 <small>ぜんたい</small> のユニバーサルデザイン(※)	1	2	3	4	5
シ 高齢者 <small>こうれいしや</small> 、子ども連れ <small>こ</small> の家族 <small>かぞく</small> 、障害 <small>しょうがい</small> や病気 <small>びやうき</small> などがある人 <small>ひと</small> に対する人々の接 <small>せつ</small> し方 <small>かた</small> や配慮 <small>はいりよ</small>	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方。



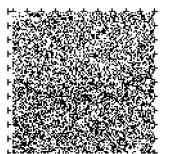
調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問27 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実 |
| 2 | 意識啓発のための研修・講演会の開催                                    |
| 3 | 障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす                         |
| 4 | わかりやすい情報発信   |
| 5 | その他(具体的に: )  |
| 6 | わからない  |

問28 お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	(内容は知らない)	知らない	せつめい 説明
回答例	①	2	3	
ア 障害者差別解消法	1	2	3	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成28年4月1日施行)
イ 合理的配慮	1	2	3	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問29 普段の暮らしや外出のとき、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はありますか。(いくつでも○)

1 教育の機会	6 交通機関や建物のつくりの配慮
2 仕事や収入	7 行政職員の対応・態度
3 近所付き合いや地域の行事・活動	8 その他(具体的に: )
4 店での扱いや店員の対応・態度	9 特に感じない
5 まちなかでの人の視線	

問30 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をもっていますか。(それぞれ1つに○)

①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



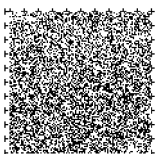
ヘルプカード



ヘルプマーク

問31 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 もっていない・わからない
------	------	----------------



## 7 デジタルの活用についておたずねします

問32 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

1 市のホームページ	5 家族, 友人・知人からの口コミ
2 市の広報紙・チラシ	6 SNS
3 市役所・相談機関などの窓口	7 その他(具体的に: )
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	8 特にない, 情報は入手していない

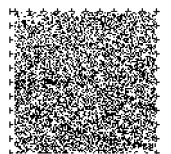
問33 普段, スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

1 使っている	2 使っていない
---------	----------

問34 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら, 参加しやすくなりますか。(1つに○)

1 参加しやすくなる	2 変わらない	3 参加しづらくなる
------------	---------	------------

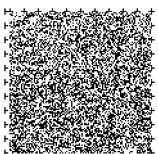
問35 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていたいこと, 暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら, 教えてください。(自由記述)



## 8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問36 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	知っている	知らない	説明
回答例	①	2	
ア ドルチェ	1	2	主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう	1	2	主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ きぼうがおか 希望ヶ丘	1	2	主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター	1	2	主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ なんびょう 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	1	2	難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談窓口です。
カ しょうがいしゃぎゃくたいぼうし 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	1	2	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ ちいきふくし 地域福祉コーディネーター	1	2	「困ったことがあるけど、どこに相談したらいいのかわからない」ときなど、福祉のことならなんでも相談できる窓口です。
ク せいねんこうけんせいど 成年後見制度	1	2	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を後見人などが補っていくことによって、法的に保護する制度です。

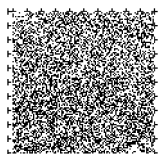


問37 調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

- 1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口
- 2 健康づくりや地域での医療サービス
- 3 手当や医療費の助成などの経済的な支援
- 4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援
- 5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス
- 6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援
- 7 介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ
- 8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備
- 9 企業などで働くための支援(就労支援)
- 10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備
- 11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備
- 12 障害理解の促進や差別の解消
- 13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー
- 14 障害に応じた多様な情報提供の充実
- 15 災害時の支援体制の整備
- 16 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

問38 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	



## 9 主に本人の介助や支援をしているご家族におたずねします (ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要です)

問39 ご本人を主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
主に介助や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

問40 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

- 1 障害や病気のことがよくわからない
- 2 適切な介助・支援の方法がわからない
- 3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)
- 4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい
- 5 自分の学校・学業がおろそかになる
- 6 介助・支援をする家族自身の高齢化
- 7 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある
- 8 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる
- 9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない
- 10 相談できる場所がない
- 11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない
- 12 経済的な負担が大きい
- 13 その他(具体的に: )
- 14 特になし

問41 あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。  
介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

- 1 介助者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること
- 2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってくれること
- 3 家事や育児を手伝ってくれること
- 4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及
- 5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実
- 6 その他(具体的に: )

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。  
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。

